

新作歌舞伎～和と洋のコラボレーション

## 第五回システィーナ歌舞伎

水口 一夫 作・演出

満月阿波囃  
Le Mariage de Figaro

フィガロ

藤間 勘十郎 振付

2014年2月14日（金）～16日（日）6回公演



### 企画の意図

大塚国際美術館（館長：大塚一郎、所在地：徳島県鳴門市）では、2009年よりヴァティカンのシスティーナ礼拝堂を原寸大に立体再現した「システィーナ・ホール」を会場とする新作歌舞伎を上演しています。

これまでに、『きりしたんでらいぶん ガラシヤ切支丹寺異聞 伽羅紗』、『スサノオ susanoo』、『GOEMON 石川五右衛門』、『しゅてんどうじ主天童子』と、美術館の空間を最大限に生かした画期的な演目を披露、開館15年目の今年度は、2014年2月14日～16日にかけて6回公演いたします。

システィーナ歌舞伎は、「和と洋のコラボレーション」「創作による新作歌舞伎」をコンセプトにしており今年で五年目を迎えます。

今般、初演される「まんげつあわのよばなし満月阿波囃 フィガロ」は、松竹株式会社の製作により、西洋の美を再現した「システィーナ・ホール」に合わせて、水口一夫 作・演出、藤間勘十郎 振付による創作歌舞伎です。今回はシスティーナ歌舞伎初めての試みとなる、オペラの名作をモチーフにした作品となります。片岡愛之助、上村吉弥、中村壱太郎らおなじみの顔ぶれが揃いました。

間口約19m×奥行約40m×高さ約15mの壮大なホールを舞台に、和の伝統文化である歌舞伎を西洋文化の壁画に囲まれた空間で演じるこの公演では、幻想的かつ魅惑的な舞台を演出します。また過去に上演された『切支丹寺異聞 伽羅紗』『GOEMON 石川五右衛門』は、他劇場でも再演され、毎年、書きおろし初演される新作歌舞伎がご覧いただける本公演は、世界でも類をみない美術館で催される歌舞伎として新たな作品を創造します。

美術鑑賞と歌舞伎観劇をともに楽しめる大国際美術館ならではの企画で歌舞伎ファンはもとより美術ファンにも贅沢なひとときを過ごしていただけることを期待しています。システィーナ歌舞伎は「文化立県とくしま」の更なる発展のため、徳島県・鳴門市から新しい文化の創造・発信に取り組みたいと考えています。



## 日時

※30分前開場

2月14日(金) 【午前の部】 11:00 【午後の部】 15:30  
2月15日(土) 【午前の部】 11:00 【午後の部】 15:30  
2月16日(日) 【午前の部】 11:00 【午後の部】 15:30



## 内容

【演目】 まんげつあわのよばなし 満月阿波噺 Le Mariage de Figaro **フィガロ**

### 【出演者】

片岡愛之助  
上村吉弥  
中村壱太郎

【作・演出】 水口 一夫

【振 付】 藤間 勘十郎



入場料 (美術館入館料・観劇料)

1公演 470席

【S席】 12,000円 【A席】 10,000円 ※全席指定、当日券は500円増

**◆12月17日(火) 午前10時より販売開始**

## ◆「フィガロの結婚」について◆

1784年にフランスの劇作家 ピエール＝オギュスタン・カロン・ド・ボーマルシェにより作られた風刺戯曲で、1786年には同戯曲を題材にモーツァルトがオペラ作品を作曲。

### 【物語】

時は18世紀、舞台はスペイン。セヴィリヤのアルマヴィーヴァ伯爵の従者フィガロと、同じく伯爵家の女中スザンナは結婚を約束する仲。フィガロは伯爵が、スザンナを誘惑しているという事実を知り、彼をこらしめる作戦を考える。

事情を知った伯爵夫人がスザンナになりすまして、密会の現場に行くことを決心。スザンナと秘かに会えるのを楽しみにやってきた伯爵は、スザンナの服を着た伯爵夫人に甘い言葉をささやく。伯爵夫人は何も知らない伯爵に正体を明かし、伯爵は自分の妻だったことを知って驚く。

最後は深く反省した伯爵のことを、夫人は温かく許す。

◆プロフィール◆

かたおかあいのすけ

**【片岡愛之助 六代目 屋号：松嶋屋】**

昭和47年3月4日生まれ。

56年12月、十三代目片岡仁左衛門の部屋子となり、南座『勸進帳』の太刀持で片岡千代丸を名のり初舞台。平成4年1月、片岡秀太郎の養子となり、大阪・中座『勸進帳』の駿河次郎ほかで六代目片岡愛之助を襲名。20年12月上方舞・榎茂都流の四代目家元を継承し三代目榎茂都扇性を襲名。

『女殺油地獄』の河内屋与兵衛や『廓文章』の伊左衛門など、上方歌舞伎の継承にも熱心に取り組む傍ら、永楽館歌舞伎やシスティーナ歌舞伎、最近の大阪松竹座花形歌舞伎公演ではエンタテインメント性あふれる意欲的な舞台を繰り広げた。端正な顔立ちと豊かな声で、明朗な個性の光る舞台姿に存在感が増している。

システィーナ歌舞伎には一昨年から出演、三度目の出演となる。



かみむらきちや

**【上村吉弥 六代目 屋号・美吉屋】**

昭和30年4月27日生まれ。

48年8月片岡我當に入門し、同年10月大阪新歌舞伎座『新吾十番勝負』の寛永寺の僧ほかで片岡千次郎を名のり初舞台。平成5年11月南座『草摺引』の舞鶴ほかで六代目上村吉弥を襲名。

十三代目片岡仁左衛門のきびしい薫陶を受けて育ち、先代上村吉弥に見込まれて由緒ある名跡を継いだ。上方歌舞伎に欠かせぬ貴重な女方として、義太夫狂言の時代物における局や女房から、近松物の遊女、老け役まで幅広い役柄で活躍中である。

システィーナ歌舞伎には第一回目から連続出演、五回目のお目見得となる。



なかむらかずたろう

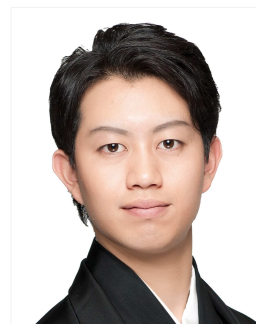
**【中村壱太郎 初代 屋号・成駒屋】**

平成2年8月3日生まれ。

中村翫雀の長男。母は吾妻徳彌。人間国宝の坂田藤十郎を祖父にもつ。3年11月南座『廓文章』藤屋の手代壱太郎でお目見得、7年1月大阪・中座〈五代目中村翫雀・三代目中村扇雀襲名披露興行〉『囀山姥』の一子公時で初代中村壱太郎を名のり初舞台。

初々しく可憐な風情と、作品を深く読み解く知性を持ち合わせ、『曾根崎心中』のお初や『廓文章』の夕霧、『毛谷村』のお園など次々と大役を勤め、上方歌舞伎の次代を担う女方として期待を集めている。

システィーナ歌舞伎には二作目から参加しており、今回が四回目の出演となる。



◆「システィーナ礼拝堂」について◆

ミケランジェロ (1475-1564)

天井画：「天地創造」ほか

1508-12年 フレスコ/1564×670 cm

壁画：「最後の審判」

1536-41年 フレスコ/1463~1338 cm



システィーナ礼拝堂は教皇シクストゥス4世（在位1471-84）の命によって、1473年頃ヴァティカン宮殿内に建造が開始されたことからその名があります。時の教皇ユリウス2世（在位1503-13）は彫刻家として、建築家として、詩人として、さらに画家として優れた才能を発揮したミケランジェロに天井画を描くように依頼しました。

彼は、1508年からわずか4年間で、旧約聖書『創世記』に基づき、天地創造から人類の誕生、そして人類の堕落と刑罰という神と人類との物語など、約1000平方メートルの天井に300人にも及ぶ人間像を描き上げました。天井画完成からおよそ四半世紀後、ミケランジェロは再び同じ礼拝堂の正面の壁画に「最後の審判」（『新約聖書』）を描くことになります。

「最後の審判」とはキリスト教の考える世界の終末です。キリストが再び現れ、天使が死者を復活させ、人類は善人と悪人に分けられます。そして善人は天国へと救済され、悪人は地獄へ墮ちるとされています。伝統的な審判図が位階的で安定した構図をもつのに対し、ミケランジェロのそれは極めてユニークなものとなっています。ここでは、天使さえもが興奮し、驚き、動転しているのです。静かに世界の終末を迎えるのではなく、神の裁きの前で動乱し、反逆し、絶叫する人類が描かれています。

昨年、システィーナ礼拝堂天井画は完成500年を迎えました。今年は「日本におけるイタリア年」でもあり、イタリア文化、特にルネサンスの巨匠ミケランジェロを知るまたとない機会です。

◆大塚国際美術館へのアクセス◆

●東京から

羽田空港 → 徳島阿波おどり空港  
飛行機で約1時間

→ 徳島阿波おどり空港 → 大塚国際美術館  
路線バス又はタクシーで約30分

●関西方面から

JR大阪駅 → 大塚国際美術館：高速バスと路線バスで約2時間30分

JR新神戸駅 → 大塚国際美術館：高速バスと路線バスで約2時間



## ◇ 大塚国際美術館とは ◇

渦潮を臨み緑豊かな鳴門公園に位置する「大塚国際美術館」。古代壁画から世界25ヶ国190余の美術館が所蔵する現代絵画まで、1,000点を超える世界の名画を特殊技術によって、原寸大の陶板で忠実に再現しています。約4kmに及ぶ鑑賞ルートには、古代遺跡や礼拝堂を現地の空間そのままに再現した立体展示のほか、レオナルド・ダ・ヴィンチ「最後の晚餐」、ゴッホ「ヒマワリ」、ピカソ「ゲルニカ」など、美術書などで一度は見たことがあるような名画を美術史の流れに沿って展示しています。

なかでも、ミケランジェロが描いた天井画と正面祭壇壁画「最後の審判」とともに立体再現した「システイーナ・ホール」の迫力は必見です。

### ◆陶板名画について◆

大塚国際美術館で展示している原寸大の陶板名画とは、大塚グループの大塚オーミ陶業(株)が開発した陶製の板(セラミックボード)に原画の写真を忠実に転写し、細部に至るまで幾度もレタッチを重ね、限りなくオリジナル作品に近づけることに成功した原寸大美術陶板のことです。最終仕上がりを考慮し、釉薬の決定、色分解、製版、転写などの各工程を経て、1300度の高温で焼成します。そのため、退色劣化することなく約2000年以上にわたってそのままの色と姿で残り、美術書や教科書と違い原画が持つ本来の美術的価値を真に味わうことができます。

### 大塚国際美術館

- 住所：徳島県鳴門市鳴門町 鳴門公園内
- TEL：088-687-3737
- FAX：088-687-1117
- <http://www.o-museum.or.jp/>
- 開館時間：9時30分から17時(入館は16時まで)
- 休館日：月曜日(祝日の場合は翌日)  
正月明けに連続休館あり/8月無休
- 入館料：小・中・高生 520円  
大 学 生 2,100円  
一 般 3,150円  
\*20名以上の団体は10%割引
- アクセス
  - ・鳴門北ICから車で約3分  
専用駐車場より無料シャトルバス運行
  - ・高速バスにて(高速鳴門まで)  
JR大阪駅より約2時間10分/JR新神戸より約1時間35分
  - ・路線バス「鳴門公園行」にて「大塚国際美術館前」下車  
JR徳島駅より約60分、JR鳴門駅より約15分、  
「小鳴門橋」バス停より約15分、  
「徳島空港」バス停より約30分



環境展示：「システイーナ・ホール」

※作品画像は全て当館の展示作品を撮影したものです

#### 《本件に関するお問い合わせ先》

大塚国際美術館 広報担当 山側千紘、土橋加奈子

TEL：088-687-3737 FAX：088-687-1117 e-mail：[info@o-museum.or.jp](mailto:info@o-museum.or.jp)

山側携帯：080-1993-5931